

令和2年度学校評価(1学期末評価)

学校名 大分県立宇佐支援学校

1年度評価結果の概観
○授業計画シートや略案シートにより授業を行い、共同授業者で授業評価ミーティングを行ったことで、年間指導計画等への反映を行うことができ、教職員一人一人が大きなPDCAへの意識を持つことができた。
○2度の防災訓練での避難所運営に係る防災教育や市役所との協議等により、避難所運営マニュアルを完成させ、災害時の学校体制や初動体制の意識を高めることができた。
○保護者や関係機関と支援者ミーティングを行うことで、児童生徒の課題等を共有し、個別の教育支援計画へも反映できた。また、各学部で地域の特色ある講師を招く、学校間の交流及び共同学習を行うなどして、つながりを持つことができた。
●学校教育目標を全職員で共有し、授業実施及び評価の視点を明確に持つことで、一人一人の教職員が授業を改善できた実感を持つとともに、学部間の授業に系統性をより持たせる必要がある。
●避難所運営についての教職員一人一人の初動体制を徹底するとともに、保護者への引き渡し訓練等、さまざまな災害時のケースを想定した防災訓練を実施し、防災体制を強化する必要がある。
●支援者ミーティングを地域と連携して児童生徒の将来を見据え、高められる内容に改善する。また、外部講師等、地域の資源活用にあたっては、学校教育目標にそって学部間の系統性を高める必要がある。

学校教育目標 中期目標 重点目標
児童生徒一人一人の尊厳を重んじ、個々の能力・特性に応じた適切な教育を行い、生きる力を育むとともに、自信をもって社会参加・自立をめざす明るく豊かな心を持った人間の育成に努める。
○「人権尊重の視点」を活用した授業実践及び進路指導
○生徒指導・防災・緊急時対応マニュアルの完備と実践
○地域・関係外部機関との連携強化と積極的な情報発信
○つきたい力を明確にした授業実践
○災害時に対応できる学校体制の構築
○家庭や地域、関係機関と連携した児童生徒の育成

Table with 8 columns: 重点目標, 達成(成果)指標, 重点的取組, 取組指標, PL SL, 検証結果(自己評価) (評価, 重点的取組・取組指標の実践, 今後の改善策), 学校関係者評価. Contains detailed evaluation data for various goals.